

# 酒田市 小牧川 洪水ハザードマップ

ハザードマップ活用して、避難経路や避難先の確認を！  
 ハザードマップを活用して、避難経路や避難先の確認を！  
 避難場所、避難経路、避難先に関するお問い合わせ先  
 酒田市総務部危機管理課 TEL.0234-26-5701

この地図は、想定しうる最大規模の大雨（最上川流域2日間総雨量252mm）によって小牧川（小牧排水）が増水して、堤防の決壊や越水が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深、避難場所などを示した地図です。

河川が氾濫する恐れがある場合は、市から避難勧告や避難指示（緊急）が出されますので、指示に従い、すみやかに避難してください。大雨の時は、雨の降り方や気象情報に十分注意して、危険を感じたら早めに自主的な避難を心がけましょう。

なお、小牧川以外の河川（支流を含む）の浸水区域は表示していません。また、流木等で河川が閉塞した場合など非浸水区域に浸水する場合があります。そのため、地図に示した浸水想定区域以外でも浸水が発生する恐れがありますので、注意してください。

### ■地図の見方

—浸水が想定される区域と浸水した場合の高さ—

- 浸水深が5～10m 未満の区域 **5.0m**
- 浸水深が3～5m 未満の区域 **3.0m**
- 浸水深が0.5～3m 未満の区域 **0.5m**
- 浸水深が0.5m 未満の区域 **0.5m**

—地図上の記号—

- 洪水時指定緊急避難場所
- 要配慮者利用施設
- 病院
- 早期の立ち退き避難が必要な区域
- 氾濫流で家が流される恐れのある区域
- 河岸の侵食で家が流される恐れのある区域
- 土砂災害危険区域
- 急傾斜特別警戒区域（レッドゾーン）
- 急傾斜警戒区域（イエローゾーン）
- 浸水する恐れのある地区の避難方向
- 河川ライブカメラ
- 水位観測所

この区域にお住まいの方は、市からの指示に従って速やかに家から立ち退き、避難場所に避難してください。

### ■命を守る最善の行動を！

危険が迫っている状況では、指定された避難場所への移動（水平避難）だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。屋外への移動が危険な場合は、自宅や近隣建物の2階以上へ緊急的に一時避難し（垂直避難）、救助を待つことも検討してください。

### ■情報の伝達

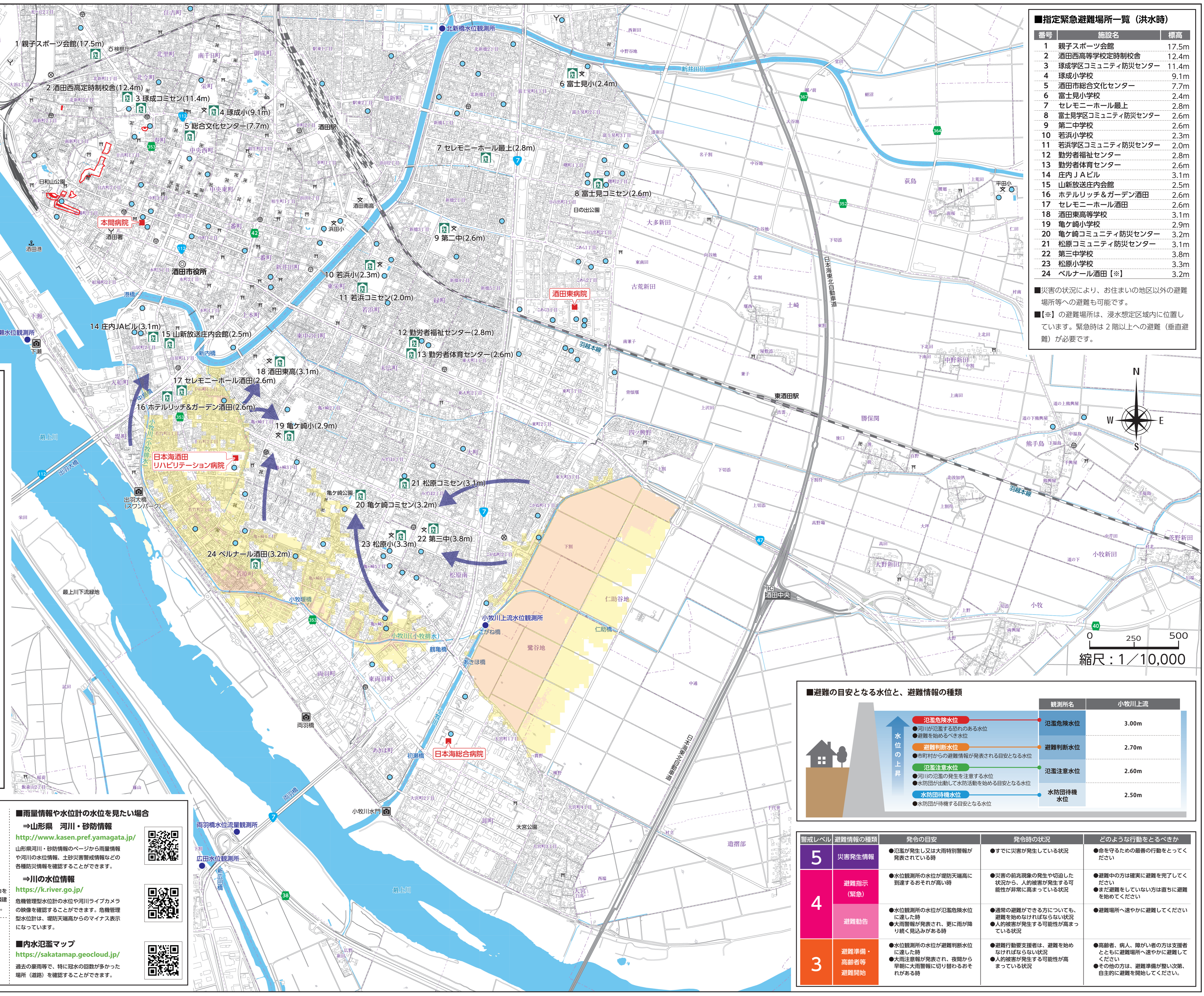
気象情報や洪水予報など、避難のための情報が、国土交通省・山形県・山形地方気象台・酒田市から発表されます。情報は、テレビ（NHKデータ放送「ボタ」）やラジオ、インターネット、サイレンや防災無線、防災ラジオ、緊急速報メール、警報・測防団等によって地域住民へ伝達されます。

### ■雨量情報や水位計の水位を見たい場合

⇒山形県 河川・砂防情報  
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>  
 山形県河川・砂防情報のページから雨量情報や河川の水位情報、土砂災害警戒情報などの各種防災情報を確認することができます。

⇒川の水位情報  
<https://k.river.go.jp/>  
 危機管理型水位計の水位や河川ライブカメラの映像を確認することができます。危機管理型水位計は、堤防天端高からのマイナス表示になっています。

■内水氾濫マップ  
<https://sakatamap.geocloud.jp/>  
 過去の豪雨等で、特に冠水の回数が多かった場所（道路）を確認することができます。



### ■指定緊急避難場所一覧（洪水時）

番号	施設名	標高
1	親子スポーツ会館	17.5m
2	酒田西高等学校定時制校舎	12.4m
3	琢成学区コミュニティ防災センター	11.4m
4	琢成小学校	9.1m
5	酒田市総合文化センター	7.7m
6	富士見小学校	2.4m
7	セレモニーホール最上	2.8m
8	富士見学区コミュニティ防災センター	2.6m
9	第二中学校	2.6m
10	若浜小学校	2.3m
11	若浜学区コミュニティ防災センター	2.0m
12	勤労者福祉センター	2.8m
13	勤労者体育センター	2.6m
14	庄内Jビル	3.1m
15	山新放送庄内会館	2.5m
16	ホテルリッチ&ガーデン酒田	2.6m
17	セレモニーホール酒田	2.6m
18	酒田東高等学校	3.1m
19	電ヶ崎小学校	2.9m
20	電ヶ崎コミュニティ防災センター	3.2m
21	松原コミュニティ防災センター	3.1m
22	第三中学校	3.8m
23	松原小学校	3.3m
24	ベルナール酒田【※】	3.2m

■災害の状況により、お住まいの地区以外の避難場所等への避難も可能です。

■【※】の避難場所は、浸水想定区域内に位置しています。緊急時は2階以上への避難（垂直避難）が必要です。

### ■避難の目安となる水位と、避難情報の種類

水位の上昇	避難情報の種類	観測所名	小牧川上流
●河川が氾濫する恐れのある水位 ●避難を始めるべき水位	氾濫危険水位	観測所名	3.00m
●市町村からの避難情報が発表される目安となる水位	避難判断水位	観測所名	2.70m
●河川の氾濫の発生を注意する水位 ●水防団が出勤して水防活動を開始する目安となる水位	氾濫注意水位	観測所名	2.60m
●水防団が待機する目安となる水位	水防団待機水位	観測所名	2.50m

警戒レベル	避難情報の種類	発令の目安	発令時の状況	どのような行動をとるべきか
5	災害発生情報	●氾濫が発生し又は大雨特別警報が発表されている時	●すでに災害が発生している状況	●命を守るための最善の行動をとってください
4	避難指示（緊急）	●水位観測所の水位が氾濫危険水位に到達するおそれが高い時 ●大雨警報が発表され、更に雨が降り続く見込みがある時	●災害の前兆現象の発生や切迫した状況から、人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況 ●通常の避難ができる方についても、避難を始めなければならない状況 ●人的被害が発生する可能性が高まっている状況	●避難中の方は確実に避難を完了してください ●まだ避難をしていない方は直ちに避難を始めてください ●避難場所へ速やかに避難してください
3	避難準備・高齢者等避難開始	●水位観測所の水位が避難判断水位に達した時 ●大雨注意警報が発表され、夜間から早朝に大雨警報に切り替わっておそれがある時	●避難行動要支援者は、避難を始めなければならない状況 ●人的被害が発生する可能性が高まっている状況	●高齢者、病人、障がい者の方は支援者とともに避難場所へ速やかに避難してください ●その他の方は、避難準備が整い次第、自主的に避難を開始してください。